



© オリックスブルーウェーブ



広島国際学院

時代の流れをリードする副専攻
(工学部学科横断型教育プログラム)

特集 現代社会学部「進化宣言」…………… 2

時代のニーズに応える即戦力を育成 工学部 …… 4

熱の入った広島地区入試説明会 短期大学部 …… 5

高校から発信 高等学校 …… 6

やったぞー！世界第5位
世界学生アーチェリー選手権大会 …… 7

アジア競技大会出場に向けて …… 7

学生時代の思い出と社会人になって思うこと …… 8

「彩」学外展を開く …… 8

プロ野球最速投手-158キロ！本学出身 …… 9

私の大学生活 …… 9

大学内を開放！ …… 10

安心して学べる大学！ …… 10

研究室紹介 …… 11

韓国で翻訳出版された！本学の先生共著… 12

熱い思いを！クロウジングフェスティバル… 12

広 報

第 51 号

平成14年10月1日発行
平

特

集

現代社会学部「進化宣言」

5コース制スタート

時代の
変化に
対応！

急激に変動する社会の諸相と要請に対応し、来春平成15年4月、〈人間福祉〉コースを新設する。同時に、従来の4コースをリフレッシュし、「時代が望む授業」を目指している。より充実したカリキュラムで学び、卒業後活躍が期待される進路を確かにするための資格取得の選択肢を多様にした。



人間福祉コースを新設 従来のコースも合わせてリファイン!

人間福祉コース	共に生きることを深く学び、暮らしに実践できる知や感性を養う
メディア文化コース	多様なメディアの〈いま〉を学び、日常的な人間関係や心理のありようを学ぶ
国際文化コース	際的な問題を国や人の関係のなかで考え、さまざまな「違い」をわたしたちの暮らしへ柔軟にとりこんでいく精神を学ぶ
組織文化コース	企業、役所、学校、病院などの組織文化の特質をふまえ、新たな組織文化創造の可能性を探る
コミュニティ環境コース	自治会からネット上のサイバー空間まで、さまざまな人間のネットワークのありようを学び、よりよい関係性とそれを実現する環境について実践的に考察する

取得可能資格もパワーアップ!

社会調査士、教員免許:中学校教諭(一種 社会)、高等学校教諭(一種 地理歴史・公民)に加え、社会福祉士国家試験(厚生労働省)は指定の科目を履修することにより、受験資格が得られる。また、ファッションコーディネート色彩能力検定(文部科学省)、カラーコーディネーター検定(東京商工会議所)は、「色彩心理学」などを受講することで受験の準備ができる。

現社祭!

7月17日(水)、午前中は雨でしたが、何とか天気ももちなおし、無事に開催されました。



ぞーれシュート!

スポーツ



スリーポイントシュート!?

スポーツはサッカー・卓球・バドミントン・バスケットボールの4種目で、学生と教職員が一緒になって、自由な雰囲気の中、みんな豪華商品を目指して燃えていました。

BBQ!

その後のBBQも盛り上がり、大成功でした。今まで学年を超えての交流会がなかったので、「こんな人がいたのか!」という新たな発見もできました。



カメラに気をとられ!?

😊初めての就職内定!活動はこうやってGET!

今年4年目を迎える現代社会学部では、1期生が就職活動に励んでいる。本学初の文系、先輩もいない中、どうやって内定を得たのだろうか。

~4年生は語る~

— 入って、学んで、考えて。自分がだんだん見えてきた —

😊 若林 友哉くん(広島山陽高校出身):西日本リネンサプライ(株)リースキンに内定

3月の合同企業説明会から就職活動を本格的にはじめました。どちらかといえば押しが弱い性格と自己分析しています。多少厳しくてもやりがいがある仕事、自分がやったことが形として残る仕事という点から清掃業のルート営業を業種として選び、内定をもらいました。面接の時には相手の目を見て話すように心がけ、就職活動用の反省ノートを毎回つけていたことで、筆記のときにも面接のときにも「自分のことばで」自然に表現できたと思います。



😊 大美 健くん(三原東高校出身):(株)サカイ引越センターに内定



3年の夏休みから就職活動を始め、本格的に動き出したのは4年生の夏休みからです。世界のグローバル化は国内外の転勤者の流れを生み、今後ますます引越業の存在価値は高まると考えて、この業種を選びました。そして、筆記試験でも面接試験でも1週間前から万全な準備をしていたからこそ、内定がもらえたのだと思います。就職活動を通して、夢を抱かせ、夢に向かって努力させ、夢を叶えさせてくれる企業こそが「真の大企業」ではないかと思いました。

😊 吉井 由祈子さん(熊野高校出身):(株)石崎本店マーケティング部門に内定

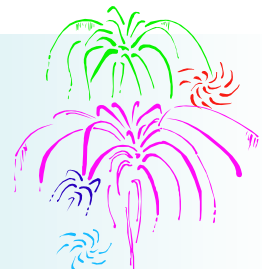
昔から広告や出版関係の仕事に興味を持っていましたが、印刷会社でアルバイトをしたことで逆に失望し、一から就職を考え直したのは3年の終わりでした。形に残る仕事、通勤30分以内、パソコンなどの資格が活かせるという点に絞り、建材部の省エネ・防音・暖房のガラス開発の事務職に内定をもらいました。データ分析、確かな情報の見極め、具体的な問題解決を考える大学の勉強が活かせる職場です。就職活動では筆記試験に合格することはもちろんですが、面接で自分の長所、会社に入りたいことをしっかりと伝えることが一番大切だと思います。



夏の現社祭に続いて、秋の運動会の企画も進んでいます!

2年生 川崎真実

花火



工学部

時代のニーズに応える即戦力を育成



技術の融合 メカトロニクスを身につける

★びっくり！コンピュータ国際見本市に参加して

工学部 情報工学科3年生 菅 由希子

最新のネットワーキング技術はどのようなものか？それを用いたネットワークとはどのような構成をしているのか？情報工学科のシスコネットワークアカデミーで勉強している私は前からずっと知りたかったのです。6月27日から7月5日まで幕張メッセで開催されたNetworld + Interop 2002に、展示会用ネットワーク（ShowNet）の構築メンバー（STM：ShowNet TeamMember）として参加してきました。

ShowNetは、世界中から集めてきたネットワーキング技術関連企業の展示会場内のブースや、カンファレンス会場をスムーズなインターネットアクセス環境で提供するブロードバンドネットワークです。

私が参加したSTMはリーダーを中心として4人1組で構成されており、リーダーが進行状況をトランシーバーで常に連絡を取り合いながらNOC（ネットワークオペレーティングセンター）から指示された作業をこなしていくといった感じです。作業内容は、主にケーブルのリンクの確立、光ファイバケーブルの減衰の計測など、知識が少ない私にとっては難解で、ほとんど機材を運ぶ、ケーブルを引っ張ってくるなどの誰にでもできる簡単な内容でしか貢献できませんでした、大変勉強になりました。

これからいろいろな知識を得て、少しでも貢献できればいいなと思います。大変でしたが来年また機会があったら参加したいです。

★最優秀賞を受賞！★ 独居高齢者の安心生活を支えるネットワークシステム研究

工学部共通基礎講座 助教授 中田 美喜子
情報処理センターシステム課係長 鋼 昌伸

1996年から、高齢化社会における老人ホームの役割について、社会福祉法人慈楽福祉会と共同研究を開始。1997年からは高齢者向けインターネット端末とネットワークを利用した安否確認システムを研究し、「ケアハウス安芸中野」にシステムを構築。

2000年「広島県情報トライアングルプロジェクト実験」には3社でこの安否確認システムで参加。2001年にはこのシステムを応用した自宅緊急連絡装置（HomeWatcher：写真）を企業と共同開発し、携帯電話による自宅の電源制御を小型サーバで実現、「2001年度ねりんピック」に出品展示。また2月には小型サーバのメーカー開催コンテストに応募し、最優秀賞を受賞。

「本事例は、自宅のそれぞれの鍵などの開閉をOpenBlockSS経由で察知するものです。更に携帯電話を使って開閉や確認が可能。実際の実験にも取りかかっている状況が判り、今後の発展が非常に楽しみです。このような形のサービスは、近々に実用化され販売される予感がします。事例の実際が判りやすく、詳細の説明がなされていたことと今後の発展性が期待できることから、最優秀賞となりました」との講評を得た。



自宅緊急連絡装置模型

▲ 学生の志望に限りなく近い就職支援を！

実践的なキャリア開発がスタート



学内合同企業説明会

に現代社会学部で実施されたものと同じ内容で、専門のビューティー・ダイレクターを講師にお招きし、会社訪問等で役立つメイク・立ち居振る舞い等を学んだ。

女子学生は3年生を中心に11名が参加した。特に参加者のうち1名をモデルにしたメイク実習と講師の身だしなみに関する話は、大変好評だった。

本年度から学生の就職活動支援に、次の新しい取り組みをした。そのひとつは、「学内合同企業説明会」である。5月25日（土）に学生会館3階で、4年生を対象として、採用活動継続中の企業7社の参加を得て開催した。

当日はリクルートスーツを身にまとった4年生が89名参加し、会場では各企業のブースで熱気こもった質問と説明が交わされた。

また、来年2月には、3年生を対象とした企業セミナーを2日間開催する予定である。

そして、ふたつ目の取り組みは、女子学生を対象とした「身だしなみセミナー」である。これは、先



身だしなみセミナー

熱の入った広島地区入試説明会

短期
大学部

— 中野キャンパスの学生会館で —

7月1日(月)14時から、広島地区の高校進路担当者対象の入試説明会が中野キャンパス学生会館で行われた。

全体会には高校の先生が約100名参加した。学長の挨拶の後、各学部の入試説明が各学部長、学生部長、就職部長、短大就職課長から行なわれた。さらに、学部毎に、3会場で分科会がもたれた。

短期大学部では、各担当者が次のことについて説明した。

- (1) カリキュラム、単位認定方法、習熟度別授業について
- (2) 2級(ガソリン・ディーゼル)自動車整備士講習について
- (3) 進路(進学・就職)について
- (4) 通信添削教育と新設のゼミナールRについて

短期大学部には約30名の高校の先生が参加され、説明を聞きながら熱心にメモをとり、活発な質疑応答がなされた。なお、7月8日(月)は岡山で、7月9日(火)は徳山で、そして7月10日(水)は松山で入試説明会が実施された。



受付



短大分科会場

自動車好きがたくさん集まった!



実習設備紹介シリーズ⑥

★噴射ポンプテスト

最近、大型トラックなどディーゼル・エンジンの排気ガスの公害が問題になっている。そのため、きめ細かな調整が必要になってきた。特に噴射ポンプなどは各シリンダに均一に噴射する必要があり、ばらつきがあると公害になる黒煙が発生する。そのため、噴射ポンプテストにより各プランジャの噴射量の均一、また全体の噴射量の調整をする必要がある。

●測定内容

列型の噴射ポンプの各プランジャの噴射量調整や、噴射時期調整を行う。また分配型噴射ポンプについても最大回転時の調整なども行える。

●測定項目

- ①コントロール・ロッド位置のゼロ調整
- ②噴射時期の調整
- ③噴射量の調整
- ④ガバナの調整
- ⑤タイマの調整



— 短期大学部のオープンキャンパス —

7月28日(日)に、第1回オープンキャンパスが上瀬野キャンパス自動車短期大学部で開催された。指定校訪問でのPR効果もあり、高校生81名、保護者50名が参加して、100個用意した弁当の追加を買いに走るという嬉しい混乱もあった。



若い元気が会場にあふれた!

全体会で披露された「学生の体験記」が高校生に好評であった。アンケートでも「印象に残ったもの」として24%を占め、第2位となった。

クイズゲームでは、本学の特色に関するクイズは全員が正解だった。「第一回ワールドカップサッカーの優勝国」が勝敗の分かれ目となった。

学内見学では今年初めて登場した「ハイブリッドカーの試乗」が人気を集めた。説明する先生が皆優しいと言う人が多かった。



真剣な実習場の見学
キャンパスであった。

好天に恵まれ、大変実りの多いオープンキャンパスであった。

高校から発信

夏の全国高等学校野球選手権広島県予選は、7月16日開幕した。本校は、春季大会ベスト4ということで、シード校として2回戦からの出場である。対戦相手は創部100年の古豪三次高校である。序盤から実力の違いを見せつけ、8対1の8回コールドで勝利する。続いての3回戦は、尾道東高校との対戦であった。立ち上がりから猛攻撃を続け、毎回のように得点を重ね、14対1で5回コールドで勝利する。4回戦は、3回戦で崇徳高校を下し勢いにのる城北高校である。序盤は互角の戦いを展開していたが、徐々にシード校の実力を発揮し、10対4で勝利し、見事に2年連続ベスト8進出を果たした。準々決勝戦は、実力派投手2人を擁する祇園北高校との対戦であった。初回に先制されながらも一時は本塁打で逆転したが、4対5で無念の敗退を喫し、またも甲子園の夢を果たすことが出来なかった。いつもながら、本校の試合には、吹奏楽部や多くの生徒、保護者、OBと大応援団の声援が球場内にこだまし試合を盛り上げている。

2年連続8強入りを果たす!

◆全国高等学校野球選手権広島県予選◆



さわやかに入場行進

ラテンのリズムに乗って!

魅せられた聴衆1500余名 吹奏楽部第14回定期演奏会



演奏会ステージ

本校吹奏楽部が、去る6月9日(日)、広島郵便貯金ホールにおいて第14回定期演奏会を開催した。今回のテーマは「ラテン音楽の世界」。会場には1500人が入場し、盛大に行われた。第1部は、今年度全日本吹奏楽コンクール課題曲から始まり、バレエ音楽「中国の不思議な役人」「ポルト」などの演奏で吹奏楽部の実力を披露する。第2部は「風になりたい」「グラナダ」「イパネマの娘」「マンボ・マンボ・マンボ」「トリステータ」などの演奏と踊りで聴衆はラテンの世界に引き込まれ

ていった。年々盛大になっていく定期演奏会、早くも来年度が期待される。

本校吹奏楽部は部員数84名で、その練習量、実力ともに定評があり、今年度も全日本吹奏楽大会に出場している。



このパワー!

「フェスタひまわり」のポスターに採用される



普通科2年生 浅野剛史君の作品

今年8月3日、海田町2002フェスタひまわりが開催された。このフェスタひまわりのポスターに、本校美術部、浅野剛史君の作品が見事採用された。開催日当日、会場にて表彰が行われた。



総合システム科2年生 池田良君 2冠に輝く!

中国高校選手権自転車大会

今年度行われた中国高校選手権自転車大会において、総合システム科2年の池田良君が快挙をなした。チームロード(団体)では、他校を寄せ付けない実力でチーム優勝した。また、トラック競技では、400mトラックを60周して競うポイントレースで、2位に19点の大差をつけて優勝し、大会2冠に輝いた。

まだ2年生で、競技歴も1年あまりながらの快挙に今後が大いに期待されている。





やったぞー！世界第5位

学院に感動と元気をくれた！

第4回世界学生アーチェリー選手権大会出場

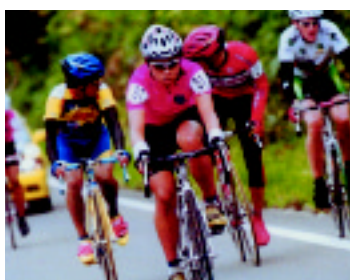
工学部メディア情報通信学科1年生 梅本幸治 うめもとこうじ

このほど、メディア情報通信学科1年生の梅本幸治選手が第4回世界学生アーチェリー選手権大会に出場した。7月5日19時から広島ガーデンパレスで壮行会を行った。学校関係者および全日本アーチェリー連盟、広島市スポーツ協会などから沢山の支援を頂き、多くの人のご参加で盛大に壮行会を行うことができた。

7月10日～13日タイ・パタヤで行われた試合では、初日の予選で個人8位につけた。決勝トーナメントにおいては強豪を次々と倒し、準々決勝まで進んだが、今回優勝したルクセンブルグの選手との対戦で惜しくも敗れ、個人5位の入賞を果たした。また最終日の団体戦では、チームワークも大変よく、最強の韓国には負けはしたものの、堂々の2位で銀メダルを手にした。

練習に練習を重ねるひたむきな梅本幸治選手の、正に今を生きる姿は全ての人に、何かを教えてくれるものがある。彼はまだまだ伸びる選手であり、関係者や周囲のひとびとに期待と感動を与えている。学院をあげての喜びであり、限りない声援をおくりたい。

日本大学 4年生（広島国際学院高校出身）西谷泰治 にしにたいじ



この度、韓国・釜山で行われる第14回アジア競技大会自転車競技の日本代表として参加することになった。私自身、最大の目標としていた大会であり、大きなチャンスを得ることができて大変感激している。

競技ではポイントレースに出場する。自分の持てる力を精一杯発揮し、悔いの残らないよう競技することを念頭に、優勝を目指し頑張りたい。また、アジア各国の出場選手との友好と親善にも取り組みたいと思う。

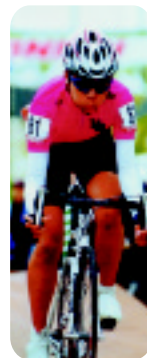
自転車競技を始めた高校時代を回想してみると、1年生の春に入部し、五月の連休から厳しい練習が始まった。倒れ込むように帰宅したことも何日かあった。今も鮮明に記憶している。その後、三宅監督の指導のもと休むことなく毎日練習を続けた。その甲斐あってか、3年生の時に行われたインターハイにおいて個人競技で優勝した。これが大きな自信となり、大学進学後も続けられたのだろう。

大学では、レベルの高い先輩・同期生との出会いがあった。競争の展開も高校時代とは一味違う。その中で練習に励み、数々の大会で幸運にも好成績を上げることができて今回のチャンスに恵まれた。

私が今まで自転車競技を続けることができたのも、高校時代の監督・顧問の先生、そして現在の監督・コーチ・チームメイトの支えがあったからだに感謝している。競技を通じ多くの人と接し、また厳しい練習に耐えることで人間的にも精神的にも成長できたと思う。

高校生活は、人のために生きる社会人になる準備期間だと思う。今の時間を無駄にせず、自分の目標を見つけそれに向かって邁進することが大切ではないか。

頑張るとい言葉をよく耳にする。しかしその意味は辛抱して努力するということだ。後輩の皆さんにはとにかく、理屈なしで頑張ってもらいたい。



アジア競技大会出場に向けて

自転車競技

目標をみつけ邁進する — 理屈抜きで頑張る！ —

— 我が最大の目標達成！ —

―学生時代の想い出と社会人になって思うこと―
「間違いを恐れず行動を起こす」ことが大切!

大学院工学研究科電子工学専攻 平成十年三月卒業

木下 崇
きのした たかし

私が就職したのは東芝電子エンジニアリング(株)という会社です。東芝(株)と共同で製品の開発・設計を行い、また独自事業として環境分析・設備設計などをしています。

私の仕事は民生用テレビ部品の設計で、他社との競合の波にさらされながら多忙な日々を過ごしています。

入社1年目のころは右も左もわからず苦労しました。ようやく3年目ころから仕事にも慣れ、発言もかなりできるようになりました。

2年目に配置転換があったのですが、上司が変われば当然仕事のやり方も変わります。最初は考え方のギャップにかなり戸惑いました。しかし結局はいろいろな仕事の仕方を見て、自分なりの方法を見つければいいのです。どちらが正しいという問題ではなく、どちらも正しいのです(両方とも正しくないという見方もありますが...)。

これらの経験から、仕事では教えてもらったことだけをするのではなく、自分から進んで学び、考え、そして間違いを恐れず行動を起こすことが大切だと考えるようになりました。

大学で授業を受ける時も同じことが当てはまると思います。わからないことがあれば、何でも先生に質問をしましょう。間違いことよりも、聞かないこと、自分で考えないことの方が恥なのです。

今後、私自身まだまだ色々な壁に突き当たるとは思いますが、間違いを恐れず頑張っていくことと思います。

集中力の持続!



集中力の持続!

彩

第十四回

学外展を開く

主催

広島国際学院大学

学友会文化局



6月22日(土)～23日(日)に広島市南区民文化センターで学友会文化局主催の第14回学外展「彩〜いろどり〜」が催された。今回のタイトルは、サークルひとつひとつの個性と感性、そしてジャンルをイメージしたものである。

出展したのは、学友会文化局に加盟する写真部・美術研究同好会・自然科学研究愛好会・電子計算機研修会の4サークルである。準備日も含め、参加スタッフはサークル員、局員合わせて約90名におよんだ。ギャラリーでは写真部と美術研究同好

会の作品が展示された。

た。大会議室では自然科学研究愛好会と電子計算機研修会が、それぞれボランティア活動のレポートと自作ゲームを披露した。

同じく文化局に加盟する音楽系

サークルの方々と、他大学の学生の皆様、そしてOBの方に多数ご来場いただき、無事に学外展を終了することができた。達成した感激とこれからへの希望も湧いてきた。皆様にご感謝を申し上げます。



予想を超える入場者に驚き!

百五十八キロ！ 日本プロ野球最速投手 ブルーウェーブ
本学出身 山口和男選手オールスターに出場

今年、中継ぎで活躍が認められ監督推薦にてオールスターに選出された。また、このシーズン中に158キロのスピードを計測した。これは、伊良部投手（現大リーグ）と同記録で、現日本のプロ野球では最速投手である。

山口投手は、平成5年広島電機大学（現広島国際学院大学）工学部電気工学科に入学。広島六大学野球において1年次春季リーグ戦から4番指名打者としてデビューし、秋季リーグ戦から投手として活躍した。また、平成8年秋季リーグ戦の初優勝にはエースとして貢献し、ベストナイン賞を受賞した。

大学時代の活躍を認められ社会人野球の三菱自動車岡崎に入社し、社会人野球の都市対抗野球（東京ドーム）、日本選手権（大阪ドーム）等の大会で活躍した。社会人時代は、全日本代表候補選手に選出されるなどを経て、平成11年のプロ野球ドラフト会議（プロ野球新人選抜会議）にてオリックスブルーウェーブに第1位で指名され入団した。

現在は中継ぎ抑え役として活躍中。今後は日本人初の夢の「160キロ」実現に期待がかかる。



うなりをあげた剛球 ©オリックスブルーウェーブ

私の大学生活

やれる！できるぞ！という自信をつけたい

工学部 情報工学科4年生 北條 里佳



『あっ！みんなネクタイ締めているのに忘れた！』これが入学式の記憶です。皆と異なる格好をしているので思わずそう心の中で叫んでしまいました。女子校から男子大学に来た感じがして、周りはほとんど男子。これから4年間、どうなるのか全く想像もつきませんでした。今考えてみると、そんな心配は杞憂で、やりたいことをどんどん積極的に進められ、充実した大学生活だったように思います。

友人にも恵まれ、色々な所に出掛けました。学内では新しいサークルを発足させ、計画を立てて実行する苦労や、新入生をまとめる難しさの一方、仲間と協力して成功する喜びを体得しました。

また三年生の後期から研究室に入り、英語・社会問題の討議・工学問題の基礎勉強をしたりしています。

すでに卒業研究にも取り組んでいます。興味があることについて勉強を進めればそれなりに分かってくるようになります。時に行き詰まることもあるけれど、理解する満足感で次の目標が自然と見えてくるので、とてもやりがいを感じます。なんとか卒業研究を成功させ、部活でも昨年とは異なった展開を見せたいと思っています。



食堂で友達と楽しいランチ

大学内を開放!

“憩いのひとときを”
自己啓発に!

一きてみて食べてよんでふれあい

学生会館・図書館・ATM・グランド

本学は、ますます地域の方々に親しまれる大学を目指して、学生会館をはじめとする諸施設を広く開放することにした。学生会館は食事や休憩に、ATMは財布がわり。図書館では本の貸し出し、読書はもとよりちょっとした調べものや、文献等の複写も可能。広いグランドで思いっきりリフレッシュできる。学生・職員も大歓迎。



新しい学生会館のラウンジ



売店

【中野キャンパス】

●学生会館「ほことり」 食堂・ラウンジ・売店

《月曜から金曜 9時から17時》

●高城館 食堂

《月曜から金曜 10時から18時》

●ATM「広島銀行」

《月曜から金曜 9時から18時》

●図書館「資料閲覧・文献複写・図書貸出し」

《月曜から金曜 9時から18時45分 土曜 9時から13時30分》

【上瀬野キャンパス】

●「食堂・ATM・図書館」等

《利用時間等はほぼ中野キャンパスに同じ》

※詳細問合せは、大学事務部 (082-820-2345)

安心して学べる大学!

学生の生活を
強力サポート

家賃を奨学金として支給

「学生寮が欲しい」「安いアパートを紹介して欲しい」そんな学生の要望や、受験生の問合せに応え、本学では今年度から、家賃の一部を援助する「下宿生支援奨学制度」を発足させた。

この制度では下宿地域を指定し、1人につき家賃を最大で月額1万円援助する。家賃が1万円未満のときは、全額支給となる。他大学にあまり例のない画期的な制度といわれている。

対象は、大学学部1～2年生、短大部は1年生である。また、下宿地域とは、中野・瀬野を中心とした一円で、本学に予め登録した78軒の信用ある「指定下宿」から選ぶことが可能である。



指定地域の学生向け住宅

申請手続きは、入学時の他随時に可能で、本年度は200名をこえる学生が、この制度の恩恵を受けている。

学生部担当者は「負担の軽くなる分、思いっきり学業に専念して欲しい。手続きはきちんとして欲しい」と語り、学生募集担当者は「県外からの志願者の増加を期待したい」と話している。



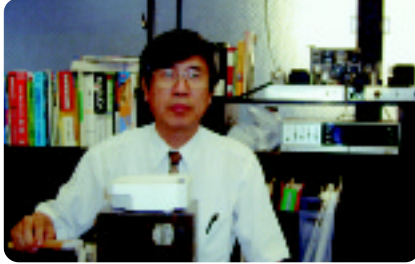
中野キャンパス全景

☆問合せは、学生部学生課、又は入試課まで

工学部

共通基礎講座

まえ た ひろ し
前田裕司 研究室



(高温超伝導) 実験中教材研究

本研究室は、基礎教育の教材研究、ハイテク・リサーチ・センターにおける高純度金属の研究、および原

共同研究等を行っている。

教材研究：「科学と方法」科目の中、私の担当課題は「古代における穿孔技術の再現」で、ものづくりと実体験を目的としている。古代のメノウ、ヒスイの勾玉にある小さな穴はどのようにあけたのであろうか。その当時は青銅も鉄もない時代である。竹や木の棒であけたといえば、ほとんどの人が驚くと同時に「そんな……？」と疑問に思う。石片や石器のドリルではV字型となり、きれいに真直ぐな穴はあかない。ヒスイ、メノウの粉末を研磨剤として利用し竹や木の棒により穿孔していた。そこで学生諸君が道具を自ら製作して、大理石に挑戦した。研磨剤は金剛砂で、道具は古代の火起こしに使用する舞錐あるいは弓錐である。見事にきれいな穴があいた。これは古代におけるハイテク技術である。また、「石臼によるコーヒー挽き」の課題研究にも挑戦している。石臼とコーヒーミルとの粉体の違いと味の実体験教材研究である。ダイヤモンド薄膜の作製も計画中である。

共同利用研究：約10°K(-263℃)の低温でイオン照射を行い、照射欠陥の形成、構造、集合状態をX線散漫散乱法により調べている。電子顕微鏡では観測が困難な微小欠陥が観察可能である。また、天然および人工ダイヤモンドの欠陥集合体(窒素原子のクラスター)の研究も行っている。これらは日本原子力研究所との共同研究である。そして研究は、現代のナノテクノロジー、ハイテク技術へと進めている。



大理石に舞錐による穿孔

現代社会学部

さわ た ぜん た ろう
澤田善太郎 研究室



開放感のある研究室

私が現代社会学部随一のヘビー・スモーカーであるため、休み時間に気がねなくタバコを吸うために立ち寄る学生もいる研究室である。

専門分野は一言でいえば組織社会学と産業社会学ということになるが、じっさいには次の3つの仕事を併行してすすめている。

第一は、組織構造や組織意志決定についての数理社会的研究である。最近発表した論文ではつぎのような問題を取りあげた。統計的調査では、データの平均や最頻値など、データのなるべく標準的な値で

データ集合の特徴を示すことが多いが、社会生活では最大値や最小値など極端な値をもつサンプルを使って、データ全体の特徴を論じることがある(たとえば、17

歳の少年が犯した凶悪事件が報道されると、これを例にして、この年代の少年全体の特徴が論じられるなどである)。論文では、こうした極端な例による議論が、組織の意思決定にどんなゆがみをあたえるかを統計学の視点から検討している。

第二は、近代組織の成立過程にかんする歴史的な研究である。これは残念ながら、最近はずみならず、注文した本の山を見て、ため息をついている。

第三は、企業組織の実証研究である。現在は、社会調査実習の授業でマツダ(株)を中心とした自動車産業の労働の調査をおこなっている。7月には、現代社会学部の学生とマツダ工業技術短期大学の学生の皆さんとの懇談会をおこなった。この研究はまだスタート時点だが、広島ならではの研究にまともな思いを持っている。

私のゼミナールは、こうした自動車産業への関心からえらんだ学生もいるが、私自身も学生の皆さんに自分の一番関心のあることにとことんこだわるように勧めているので、登場してくるテーマはスポーツ、音楽、ファッションなど多様である。ただ、産業組織を研究する私に感化されてかどうか、気がつけば、スポーツ産業、音楽産業、ファッション産業の研究になっているのが特徴であろう。

研究室紹介

本学の先生が書いた人気の教科書

韓国で翻訳出版された！



工学部メディア情報通信学科 田中誠助教授が共同執筆した教科書「図説電子デバイス(産業図書)」が、韓国の汎韓書籍株式会社(PAN KOREA BOOK CORP.)より韓国語で出版された。

この本は、半導体工学の基礎からトランジスタや集積回路(IC)などについて解説した電子デバイスの教科書で、

図を多用してわかりやすく書かれているのが特徴である。1990年の初版発行以来年々評判が高まり、多くの大学・高専等で教科書に採択され、改訂版9刷となっている。

今年なんと全国生協売り上げベストテンに入った。

このたび、韓国の出版社より翻訳出版の依頼があり、韓国語版の「図説電子デバイス」(ISBN 89-7129-137-0)が出版されることになった。

大学教育の質の改善と向上にとって、教科書は大きな要素であり、本学が目指す「今の学生が望む授業」の基盤となっていることに自信をもちたい。



初版・改訂版



翻訳出版された韓国語版(図説電子デバイス)



第32回

クロウジングフェスティバル

熱い思いを！



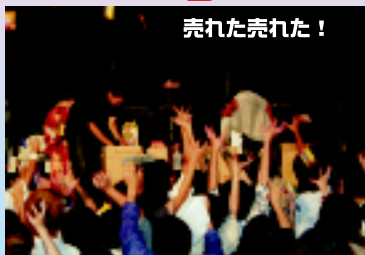
笹飾り

今年の第32回クロウジングフェスティバルは、7月7日(日)中野キャンパスグラウンドで学生会体育局主催により行われた。

七夕の日にちなみ「夏彩祭」と題した。美しい花火に彩られた夏祭は、学生たちの夢と希望を夜空いっぱいに大きく描いた。会場の笹飾りもいっそう雰囲気盛りあげた。味がよかったのかバザーは大変な人気であった。特にステージの演技は、人と人の心をつなぐ喜びの共感が、皆の身体からあふれていた。広島文教女子大学ダンス部「ピルエット」のダンスは大勢の人を惹きつけた。来場者は500名を越えた。地域住民の方、他大学生、本学学生のふれあいと交流の場として、有意義な催しとなったことを喜びとしたい。

クロウジングフェスティバルに先立ち、大学周辺の清掃作業を6月25日(火)に行った。住民の方へ親しみと感謝の意をこめて、キャンパスから中野東駅周辺まで丁寧に作業した。また、クロウジングフェスティバルへの参加も呼びかけた。

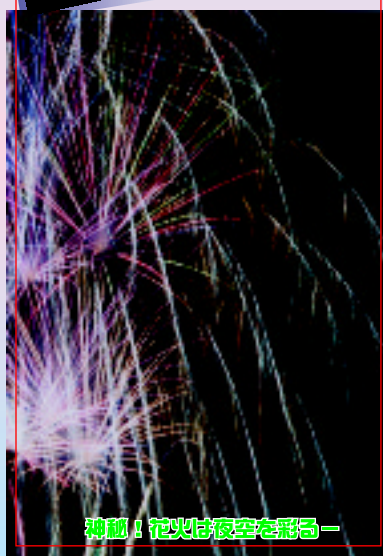
夏彩祭



売れた売れた！



ダンス



神韻！花火は夜空を彩るー